

例題 5

次の計算を電卓を使っておこない、解を求めましょう。

(1) $8 - 2 \times 1 =$

(2) $35 - 4 \times 7 \div 2 =$

(3) $25 + 46 - 2 \times 13 =$

(4) $16 \div (12 - 8) =$

計算結果



(1) $2 \times 1 =$

8 = 6

(2) $4 \times 7 \div 2 =$

35 = 21

(3) $2 \times 13 =$

46 = (20)
+ 25 = 45

(4) $12 - 8 \div 2 =$

16 = 4

6 定数計算

同じ数を何度も足したり割ったりすることができます。例えば、

B+A=

C+A=

D+A=

E+A=

このような場合です。A を何度も別の数に足しています。もちろん、毎回「+A」を打ってもよいのですが、以下のように繰り返す数字が大きい場合、毎回同じ数字を打つのは時間がかかりますし、手数が増えるので誤入力の元になります。

12+5,568,132=

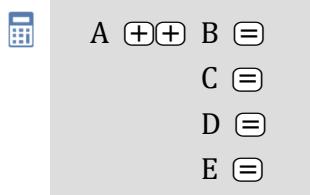
23+5,568,132=

34+5,568,132=

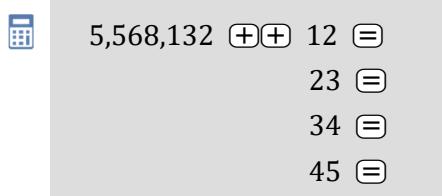
45+5,568,132=

そのようなときは、「定数計算」を使用します。繰り返し同じ計算をすることを、定数計算と言います。「定数計算」モードになると、電卓に「K」が表示されます。

具体的には、



と打ちます。先ほどの計算であれば、



となります。以上の例は足し算の場合ですが、すべての四則計算で使うことができます。定数計算では、 \equiv などで結果を表示させる必要があることに注意してください。

